

令和3年12月10日

保護者 様

深谷市立川本北小学校  
校長 兵頭 一樹

### 学力・学習状況調査（全国・埼玉県）の結果について

保護者の皆様には、日々の教育活動にご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年度実施した学力・学習状況調査（全国・埼玉県）結果の結果を配布します。学校では、結果を受けて日々の学習活動に活かしていきたいと考えております。

記

#### 令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果（令和3年5月実施）

・平均正答率 (単位%)

	国語	算数
川本北小	64	67
深谷市	64	67
埼玉県（公立）	65	69
全国（公立）	64.7	70.2

#### 令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果（令和3年5月実施）

・平均正答率 (単位%)

教科 学年	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
川本北小	56.7	55.5	57.0	68.6	66.1	57.6
深谷市	57.5	55.1	56.9	69.5	61.5	60.0
埼玉県	58.0	56.7	58.6	69.9	61.6	60.9

#### 質問紙調査（埼玉県学力・学習状況調査より）

※質問事項は質問紙調査より抜粋。「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値。

(単位%)

	質問事項	小4		小5		小6	
		川本北小	埼玉県	川本北小	埼玉県	川本北小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	83.5	83.3	86.0	83.6	83.8	86.8
	・はっきりあいさつをすることができる	82.1	78.5	73.7	78.2	79.4	78.0
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	76.1	84.6	87.7	84.6	82.3	84.1
	・名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をすることができる	88.1	87.5	84.2	87.9	86.8	86.4
学習習慣	・先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができる	74.6	76.4	75.4	76.0	75.0	72.4
	・学校の宿題をしている	94.1	94.9	93.0	96.2	97.1	96.1

	・学校の授業の予習や復習をしている	56.7	69.3	61.4	69.9	76.5	70.0
	・平日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している（塾等を含む）	56.7	51.1	61.4	58.3	67.6	64.9
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き（勉強する理由として）	76.1	70.0	77.2	63.8	67.7	57.8
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ（勉強する理由として）	85.1	88.3	93.0	88.7	91.2	90.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	74.6	77.5	87.7	70.9	79.4	63.7
その他	・自分には、よいところがある	73.1	80.2	79.0	77.9	70.6	69.8
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	80.6	80.3	86.0	79.9	85.3	75.8
	・将来の夢や目標をもっている	88.0	89.0	94.8	88.3	80.9	83.4

### <川本北小の「よかった点（○）」と「課題（●）」>

<p><b>【国語】</b>  ○文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけることに高い正答率を示している。  ○場面の様子から、登場人物の心情を読み取ることができたり、筆者の主張や要点をまとめたりすることに高い正答率を示している。  ●言葉の特徴や使い方に関すること（主語・述語の関係や修飾語・被修飾語の関係、類義語や対義語など）の定着に課題がある。</p> <p><b>【算数】</b>  ○測定の分野に関する問題に高い正答率を示している。  ○折れ線グラフの読み取りに高い正答率を示している。  ●図形の面積を求める問題など、図形の分野に関する問題に課題が見られた。  ●小数の計算など数と計算に関する問題に課題が見られた。</p> <p><b>【質問紙】</b>  ○学習への関心が高い児童が多い。  ○毎日決まった時刻に起床し、朝食を食べて登校してくる児童が多い。</p>
---

### <課題への取組・改善策>

<p><b>【国語】</b>  ・語彙を増やしたり、言語に関する知識や感覚を高めたりするために、読書を励行したり、国語辞典や漢和辞典を積極的に活用したりする。  ・書く活動に推敲し合う時間を取り入れる。また、発表する際や自分の意見を書く際などの日常生活の中で、主語・述語を意識した話し方の指導をする。  ・文章表現に慣れさせるために、給食時に朗読CDを流す。</p> <p><b>【算数】</b>  ・線分図や数直線図、イラストや図を活用して、問題解決の根拠を書かせたり説明し合ったりする活動を取り入れる。  ・図形やその要素に関する定理や定義を説明できるように指導する。  ・個別最適な学びにICTを活用し、基礎基本の定着と併せて、発展的な問題に取り組ませる。</p> <p><b>【その他】</b>  ・家庭学習のススメを参考にした、家庭学習を励行する。  ・家庭学習用ICTを活用して、個々の学習状況を把握し、個別の指導に生かす。</p>
--